

目標の六、五〇〇万立方メートルの搬出が完了するのは来年末の予定。今日も現場では、超大型ダンプカーが行きかい、巨大なショベルカーが行きかい、巨大なショベルカ



土砂採取現場（和歌山市加太）

折り返し点を通過
ここは和歌山市加太、関西国際空港埋め立て用の土砂採取現場です。

加太の土砂採取工事

山を拓いて21世紀へ

ひら

一と力強い連係プレーを繰り返しています。

民間の知恵を活用

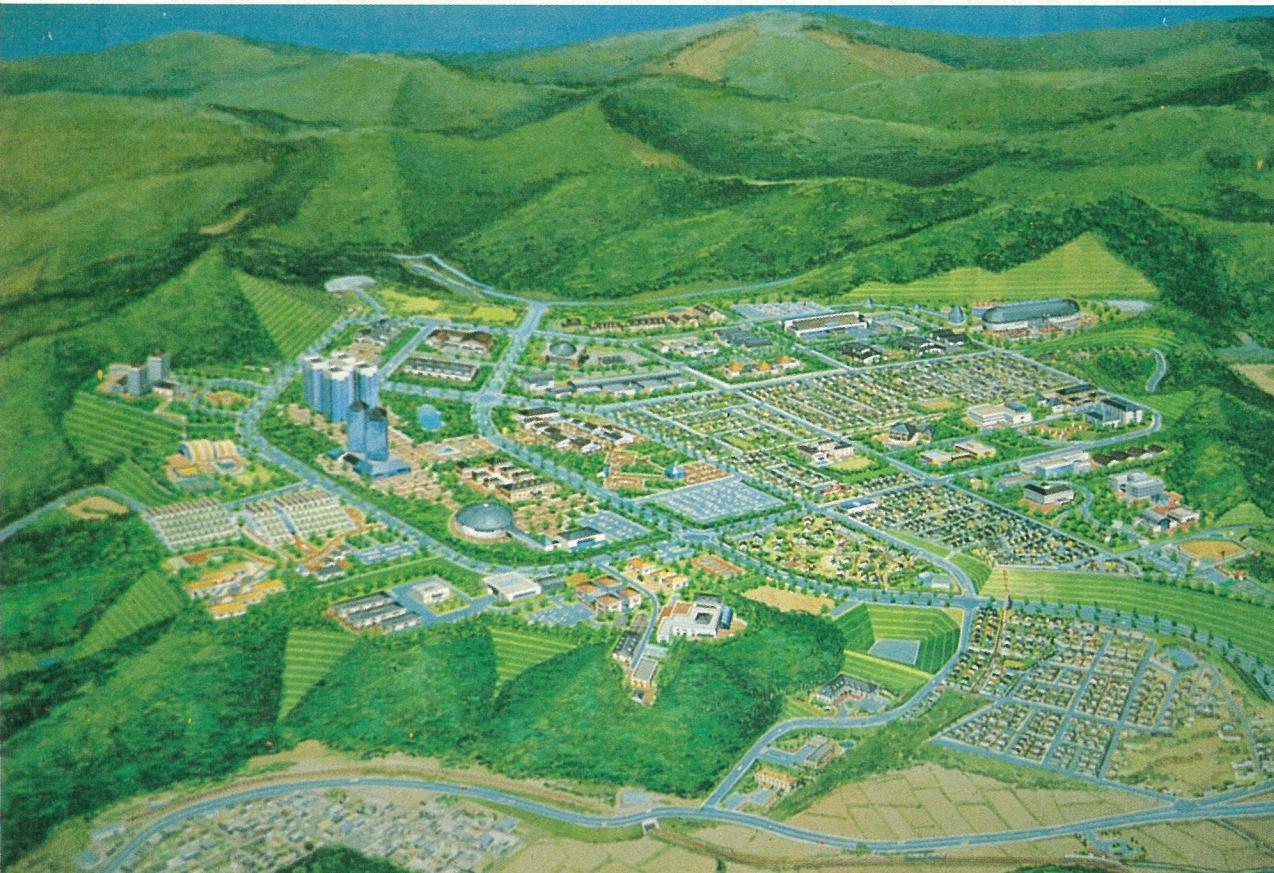
準備着々

コスモパーク加太計画

ところで、この土取り跡地一帯（約二七〇㌶）に計画されるのが「コスモパーク加太」。辺りの豊か

な自然環境と関西国際空港への利便性を生かした国際的な複合機能都市です。

県、和歌山市、県土地開発公社ではコスモパーク加太開発推進機構を設立して、具体的な計画づくりを急いでいますが、このたびこれに住友グループや地元の紀陽銀行など十四社が参画することに決行など十四社が参画することに決



コスモパーク加太イメージ図

まりました。民間企業の優れた開発ノウハウ（技術的な知識、経験など）を導入することによって、より充実したプランづくりが期待されています。

計画が順調に進めば21世紀まで

にリゾートホテルやマンション、コンベンションホール（国際会議場）、研究開発施設、緑あふれる公園や住宅などいろいろな機能をもつた魅力いっぱいの新しい街が誕生することになります。

一気に時間を短縮

二つのトンネルに着工

和歌山は山の国。深い谷や陥しい山々など起伏に富んだ地形のため、交通の難所といわれる箇所が多いことがあります。

その中で、県道岬加太港線の和歌山市大川峠付近と、国道四二四号の美山村と金屋町を結ぶ白馬山脈で、相次いでトンネルの建設工事が始まります。

大川峠周辺は、急勾配のうえへアピングカーブが続くため、大型車の通行が困難な現状です。そこで、この区間に延長一、〇〇五㍍のトンネルを設けて、一気に時間距離の

四トン車以上が通行不能となっています。

白馬トンネルは延長一、八九一㍍。完成すれば、金屋町宇井と美山村弥谷間の所要時間が現在の四〇分から一〇分へと大幅に短縮されます。

関西国際空港へのアクセス道路として、また紀北と紀南を結ぶ主要幹線として、二つのトンネルの早期建設に熱い期待が寄せられています。

とも完成は平成五年の予定。



すでに始まっている白馬トンネルへの取付道路工事



急カーブの続く和歌山市大川峠付近

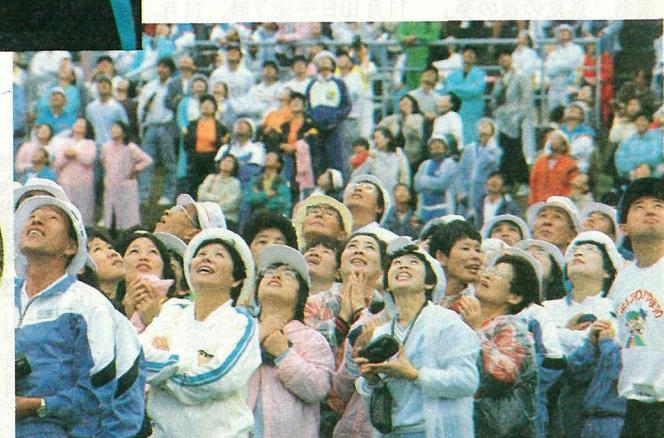
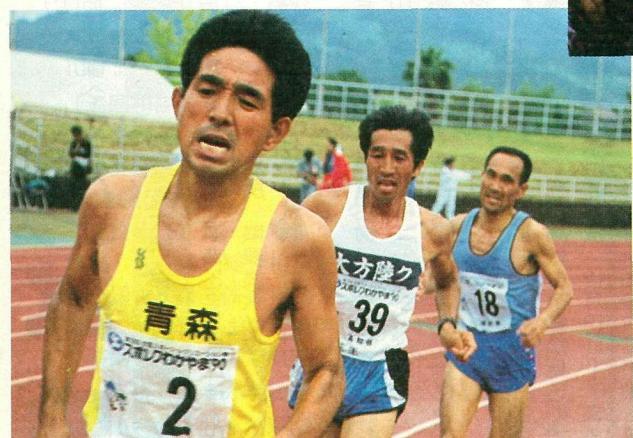


汗と感動、すてきな笑顔 スپレクわかやま'90



生涯スポーツの祭典、第三回全国スポーツ・レクリエーション祭「スپレクわかやま'90」が十月十三日から四日間、県内各地の会場で盛大に開催されました。

紀三井寺公園陸上競技場で行われた開会式には全国、県内各地から三万三千七百人が参加。生涯スポーツの祭典の名にふさわしく、楽しい感動的な開会式となりました。



九月下旬から十月上旬にかけ三回も台風が本県を襲い、県下各地で大きな被害が出ました。心からお見舞い申し上げます。招かざる客とはいえ、必ずやって来る客。小さな人間がこの大きな自然の力に立ち向う力は知恵。「防災」の大切さを改めて痛感させられました。十一月、山々の紅葉が最も美しい季節。そろそろ冬支度を、また風邪などにくれぐれもご用心……。

1 平成2年11月1日

なくそう差別みんな一つの輪になって

「県民みんなの同和運動」に参加を / 11月は同和運動推進月間です



同和問題の解決は わたしたちの課題です

今、同和問題はどうなっているのでしょうか?
部落差別は、もうないのでしょうか?

同和問題を一日も早く解決するため、同和対策事業や啓発活動を積極的に推進してきました。

その結果、地区の環境整備が進み、また、結婚問題や混住の状況等において一定の成果をあげ、地区住民の生活の場がひろがり、同和問題解決に明るい展望がひらかれてきました。しかしながら、一部に同和問題に対するまちがつた考え方が残されており、そのため、差別事件が、今までお发生している事実を厳しく受け止めることが重要です。

世界的に「人権の尊重」が求められている今日、部落差別をすみやかに解消し、差別のない幸せな社会をつくっていくことが大切です。

和歌山県同和委員会

平成2年11月1日 8

太郎のかがみ

16ミリ・カラー
56分

テレビ和歌山で放映

11月6日(火)午後7時より (再)11月18日(日)午前8時30分より

鏡は太郎の心を映します
『僕の顔、笑ってる…僕の心も笑っています。』

部落差別と諸々の差別
とのかかわりどちらがいを
正しく理解するために…

純真な子供たちに
同和問題を正しく理解し
差別といじめのない
明るい社会をと
願っています。

太郎のかがみ

（カラー作品）
人権啓発ドラマ

企画 / 和歌山県同和委員会

同和啓発映画・無料貸し出し

お申し込み
お問い合わせは
和歌山県同和委員会 〒640 和歌山市小松原通1-1
☎0734-32-4111 内線3802-3803

または各県事務所内 各地方同和委員会

平成元・2年度 和歌山県同和委員会製作

（地区に住んでいるというだけで 差別をうける事件があきています）

いつまで「つくられた差別」に こだわるのですか

- 「県民みんなの同和運動」が進み、混住もふえてくるなかで、地区外から移り住んだ人が、ただ同和地区に住んでいるというだけで差別をうけるという、新しい形の差別事件がおきています。
- 同和地区をさして、「あの地区はガラガラ悪い」などと、親が子に話した事件も、あい変わらずおきています。
- 部落差別をなくす第一歩は、部落がどのようにしてできたかという事実を、歴史から知ることです。
- ◎ 部落は、封建時代の『つくられた差別』によるものにすぎないことを知り、それに基づく部落差別が民主主義とはいえない、重大な基本的人権の侵害であることを、まず理解しましょう。



※混住 同和地区へ、地区外の人が移住して、一緒に住むこと。
 ※混住率 地区内総人口に対する同和地区人口の割合。
 県全体の混住率六六・六%
 全国平均 六〇・八%

- 封建時代、政治支配の手立てとして作られた身分制度が、部落差別として今日に残され、人々の人権を侵害し、結婚の自由、職業選択の自由などの、市民的権利を奪つてまいりました。
- 民主主義がめざましく進展している現在社会においても、部落差別以外に障害や性別、また職業や貧富等による諸々の差別があります。
- これらの不合理な差別は、お互いにかわりあって、それぞれの立場の人々の人権を侵害しています。
- 差別をなくすことは、人権侵害をなくすことです。
- 諸々の不合理や差別を、一つ一つ具体的になくしていく努力は、部落差別をなくすことにつながります。

差別をなくすことは、
自由と平等という
民主国家の理想を実現する
ことになるのです。



同和問題は人権問題です

同和問題について本音で話しかけつていませんか

同和問題について自由な意見交換のできない雰囲気が、あなたの地域や職場でありますか。

同和問題に関し、うかつな発言をすると、トラブルが発生すると恐れるあまり、ただ黙っているのが得策だと考えている人もいます。

話し合いの場では、疑問点や意見を自由に率直に出し合うことが大切です。もし、それらのなかで、まちがいがあれば、そのまちがいを正し、こえていく努力をみんなすべきです。

話し合いにおいて、最も大切なことは、みんなが同和問題を解決するという立場に立つことです。



この長い運動の成果として、同和問題解決への意見が自由にのべられる環境が保障されています。
立場に立ち、同和問題解決を前提とした自由な意見交換であることはいうまでもありません。
また、初期の解放運動では、差別事件の処理にあたって、関係地区住民自らが立ち上がり、糾弾が中心となりながらも、社会的背景を理解するとともに、同和問題の重大性を社会に訴え、今まで数々の施策の実現に大きく寄与してきました。本県における差別事件の処理は、県、地方、市町村同和委員会が、差別事件の処理方針に基づき、主体性をもって対応し、きびしさの中にも、差別事件の解決に展望をもって、科学的で社会性のある民主的処理を行っており、県民一人ひとりの課題となるよう努めています。

このことは、本県同和委員会発行の「改訂版 行政責務と国民課題」の中に詳細に記述していますので学習の資料として活用してください。

「どう考へてもおかしい」と思いませんか？

江戸時代の身分がいまだに生きているなんて！

■ 平成の今日、江戸時代の先祖が武士であつたか、農民であつたか、町人であつたか、そんな昔の身分のことを、おそらくあなたは問題にはしないでしょう。

■ 身分制度は、封建時代の政治支配のしくみとして、人間の手でつくられたものです。だから、明治の初めに封建政治が廃止されたとき、身分制度も廃止され、みんな平等になりました。

しかし、身分差別としての部落差別だけが残され、今なお、多くの日本人を、子孫に至るまで、不幸におとしいれています。

そんな不合理はおかしいと思い、そんな正義に反することは許せないと考えられるあなた。何よりもまず、この不合理・不正義をなくすために一緒に立ち上がりましょう。



いま、「こんな子どもがふくんじると思いませんか

正しく学習しているはずなのに……

●「それが差別である」ということに全く気がつかず、周囲のまちがつた考え方同調して、かわいがってみぬふりをして、かわりを避けようとする子ども。

●差別と知りながら、「見てみぬふり」をして、かわりを避けようとする子ども。

こうしたことが、部落差別を残す大きな原因となっています。



教育は人を育てます

いま一度、部落差別をとりのぞく人間を育てるという同和教育の原点に立ち帰りましょう。

●同和問題の本質を正しく理解し、人の心の傷みのよくわかる、豊かな心を持つ子どもを育てましょう。

●正しく学んだ「知識」をすぐ「実践」にうつすことのできる勇気と力を培いましょう。



あなたなら、どうしますか？ 家庭内で問われる、大人たちの人権意識！

部落差別は解消の方向にあります。でも、みなさん、時折、家庭内で点滅する赤信号にお気付きますか？

▼ある日、おじいちゃんのところに、かわいい小学生の孫が元気な姿でやってきました。

孫との会話のなかで…

「あそこの子とあそぶんだらあかん」と。



- こうしたことは、子どもたちの世界に、大人の差別心を持ちこむことになります。
- あそぶのは、だれとあそんでもよいのです。悪いのは、お友達の住んでいるところとか、生まれたところをさして「あそこの子とあそぶな！」と言ったおじいちゃんのまちがつた考え方です。

